

真庭市立富原小学校 学校だより

みどりの風



2026

3.16

VOL.21

富原小学校ホームページ

<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/83/>

6年生ありがとう



「思いやる」という言葉が頭に浮かんだ瞬間でした。他者への配慮や共感を示す際に使われます。自分以外の人々の気持ちを考え、優しさや気遣いをもって接することを意味します。6年生がこれまでに関わってきた姿がお手本となり、相手を思う気持ちが伝わっていたことが分かります。

5年生を中心に、下級生みんなで2月から準備をしてきました。入場での迎える拍手、3・4年生が中心になって楽しんだゲーム、一人一人の思い出が詰まったお手紙、6年生からのゲーム、どれも子ども達の日々の生活が込められた温かいものでした。とても素敵な時間を共に過ごす会となりました。

★6年生を送る会★

3月19日は卒業式

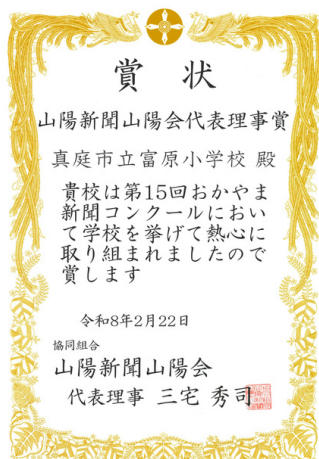


おかやま新聞コンクール

バス遠足で「さんた新聞館」に行きました。その山陽新聞社で、毎年、NIEの教育を進めるねらいで募集されているコンクールがあり、参加しました。

総合学習、生活科、社会科で調べたことなどを新聞にまとめる学習をこの学年も取り組みました。

参加することで他校の様子も見られる機会となり、学びを広げるきっかけにもなっていると思います。



★個人賞と学校賞をいただきました

紙飛行機をつかって飛ばそう (今年度最後のクラブ)

紙飛行機が大好きだという地域の方がこの日は来てくださいました。折り方を教えてくださったたり、ユニークな飛び方をする紙飛行機を全員にくださったたりして、一緒に楽しみました。

この日は最後なので、1・2年生も参加しました。それぞれよく飛ばす！の紙飛行機をつくると、体育館へ行って、誰の紙飛行機が一番よく飛ばすかを競いました。先生チームも含めて3回に分けて飛ばしました。司会の方が、一番よく飛んだ人に駆け寄り「よく飛ばすコツは何ですか？」とインタビューすると、みんな盛り上がっていました。



！みてみて！

富原っ子アートラボ

期間中に、保護者を含めて33名の方が見に来てくださいました。学校運営協議会の方、兼務の職員や非常勤職員、来校者、給食を配送して下さる方、そして、地域の方々等が子ども達の学びの様子を見てくださいました。本当にありがとうございました。

【いただいた応援メッセージ】

- ・富原小のれきしがよく分かるようにまとめていますね！富原小のいいところも描かれていますね。みんながいつも元気に走っている運動場と見守ってくれている緑の山々。友達の笑顔、いいですね！
- ・たまごもすてき！中から出てきた物もすてき！みなさんの思いが詰まっているのが伝わりました。
- ・「お茶クッキー」おいしそう。おやつにいいね。お茶どころ富原自慢を心がけたいと思いました。
- ・みんなは、細かい部分までよく描きましたね！はんこも自分で作ったのもすごいです！おしゃれですね ^^)
- ・若代八幡神社や井原神社のことをインタビューしたり実際に行ったりして、よく調べていてすごいです。富原小唄も伝えていってくださいね！
- ・ツーカラーのあじさいとかわいいかたつむりはとてもすてきです！
- ・郷原漆器。MITでみなさんがチャレンジしている姿を見ましたよ！一発で絵を描いてすごいです。宝物、思い出になりますね。
- ・アートラボを見せていただき、色鮮やかな絵で癒されました。習字もとてもきれいに書かれていて、一生懸命取り組まれたこと、とても元気をもらいました。



貼ってくださった付箋を、じっと読んでいる子がいました。こうしたやり取りは、子ども達のやる気を引き出し、大人と子どものつながりをつくったり、深めたりしていきます。次に初めてあったときでも、初めてではないような感じがすることと思います。文字でのやり取りも大事なコミュニケーションです。

令和の二宮金次郎賞【晴れの国おかやま 農業協同組合様より】

勉強も熱心に取り組み、地域の農業について学び手伝いにも励んでいるということで、富原小全校児童を表彰していただきました。長年、農業と林業について特別非常勤講師として指導して下さっている梶岡泰士様に、中心的に学習させていただいた3・4年生が代表としていただきました。ありがとうございました。



ひな人形を受け継ぐ



玄関に飾っています。皆様にもお気軽に見ただけでも構いません。3月27日金曜日まで飾りますので、どうぞお立ち寄りください。

真庭市出身で、現在は海外に在住の方から「日本の伝統行事を子ども達につないでほしい」という思いで雛人形を一式寄贈していただきました。ひな壇は眞壁先生のおじさまが作ってくれました。みんなで飾りましたが、「これなに？」「反対？」「あれ～？」「こうじゃが！」など、昔の衣装をまとったかわいい人形を大事に手に取ったり、笛や太鼓を持たせたりしながらわいわい飾りました。子ども達は、見るのも好きですが、やはり「自分でする」ことが大好きです。お互いに譲り合い、楽しんで夢中になれる素敵な富原っ子の姿がありました。